

地域の高等学校教育のあり方に係る意見を聴く会 意見概要 ＜彦根市小中学校長会＞

- 日 時 平成24年(2012年)6月4日(月) 15:30～17:15
- 場 所 滋賀県湖東合同庁舎
- 参加者 彦根市小中学校長会 24名
- 主な意見 ※ 同趣旨のご意見については集約して取りまとめました。

- 魅力と活力のある学校づくりのイメージと、県の考えている魅力と活力のイメージが異なる。魅力のある高校、活力のある高校のイメージを聴かせて欲しい。
- 制度を変えるだけでは駄目。この学校に入学したら、このようなことをしてその先はどうなるか、見える形で示すことが必要。
- 6月2日のPTAからの意見聴取会で、高いレベルの高校を希望するという意見が出ていた。そのような高校も必要だが、子どもたちの意欲を高めることには繋がらない。しっかりとした滋賀の教育のビジョンを示す必要がある。
- 高校になれば生徒は冷めた目になり、学校を単なる通過点と考える。最後は就労が大切。
- 総合学科は、入学してから進路に関して考える時間があるため人気がある。進路の切り替えが可能。
- 学級数が多ければよいのではない。殆どの中学校は小規模でやっている。
- 小学校、中学校、高校と学年が上がるごとに学校の地域性は失われるが、100年の伝統のある高等学校の再編は、もう少し地域の意見を聴く必要がある。
- 長浜北高校、彦根西高校ともに100年の伝統があり重みがある。その学校を廃校にするには、よほどの理由がないと難しい。
- 統合反対の理由の一つに、100年の伝統校がなくなる寂しさがある。理解を得るには、滋賀県の高校教育の20～30年スパンのビジョンを示す必要がある。また、何故彦根西高校と長浜北高校なのか根拠をはっきり示す必要がある。
- ここ数年間のデータによると、彦根市内から彦根西高校普通科に66～73%、家庭科学科に48～55%、彦根翔陽高校に48～63%の生徒が進学している。その中でも特色ある学校づくりをしているので、彦根西高校の割合は高い。
- 彦根西高校では、「学びの共同体」を通して生徒同士が学び合う授業を行っている。滋賀県の目指す魅力と活力ある学校づくりにつながり、合致している。
- 彦根西高校に通っている生徒から、「学びの共同体でやる気が出た」「コの字型で授業を受けるため、雰囲気は良く理解しやすい」などの意見を聴いた。
- 遠距離通学は困難を伴うため、彦根市内に高校があると有難い。今のままで高校の活性化をお願いしたい。
- 社会に出て働くためには、中学生を高校に進学させて、高卒の資格を取らせる必要がある。統合により募集定員が減るため、今まで彦根西高校に行っていた生徒の進学先を探さないといけない。
- 定時制では、不登校、厳しい家庭環境、意欲の湧かない生徒たちが、高卒を目指してチャ

- レンジする。能登川高校まで生徒が通学できるのか疑問。近くに定時制高校を残して欲しい。
- 定時制高校の先生は、生徒の出身中学に通って情報交換しながら熱心に指導している。地域から定時制の火を消さないで欲しい。
 - 定時制高校が彦根市内にあることの意味は大きい。
 - 高校を中退した生徒や、高卒の資格が必要な生徒が定時制高校に通っている。
 - 企業の理解がないと定時制高校は続けられない。会社を早退させてもらって高校に通っているため、高校が近くにないと困る。
 - 定時制に勤労生徒が少ないことは知っているが、学校が職場から近いことが望ましい。
 - 定時制高校を一つにまとめるのは合理的なのは分かるが、考慮してバラバラに配置して欲しい。
 - 今の時期に統合を発表すると、中学校3年生は不安を抱く。中学校2年生でも不安になる。最低でも中学校2年生の今の時期に、再編が決定していないといけない。3年後の再編を目途に発表して欲しい。
 - その学校でしかできないことをPRすると、生徒はその学校に入りたがる。
 - 高校の体験入学は大切だが、高校に関する情報があまり入ってこないため、高校の姿が見えない。夢の設計図はインターネットではなく、以前のように資料で配付して欲しい。
 - 彦根工業高校の特色ある取り組みを校長先生から聴かせてもらったが、中学校の教員は知らない。中学生に、彦根工業高校の取組が分かるはずがない。
 - 全県一区、特色選抜を導入して7年が経過した。全県一区は、遠距離通学となり保護者の負担が増えた。特色選抜は、3～4倍の競争率で子どもを傷つけ泣かせる制度になっている。見直して欲しい。
 - 特別支援学級の自閉・情緒の学級に在籍する児童生徒の割合は、年々増加している。また、高校に行かせたいという保護者の声が多くなっている。自閉・情緒の生徒に夢を持たせてやれる構想が聞きたい。
 - 特別支援の子どもたちが生きていくためには、学級数は大きくない方がよい。学級数の少ない学校があっても良いのではないか。
 - 湖東地域にある私立高校を、再編計画のビジョンの中でどのように考えているのか。高校の授業料が無償化になったが、私学は保護者に負担となる。私学で学ばざるを得ない状況になれば、保護者に負担が生じる。
 - 再編に関する情報発信が上手くできていなかったが、今後どのように情報発信していくのか。
 - 今回、意見を聴いて答えたことで終わるのか。今後、何を参考にして検討していくのか。